

「多様性への対応」と「個に応じた指導」の充実

北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会長 阿 部 穰
(北海道有朋高等学校長)

高教研地歴・公民部会の会員の皆様には、日頃から地理歴史科・公民科教育の充実・発展にお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。これから、各学校では夏季休業に入りますが、学校によっては、講習や部活動等で慌ただしい毎が続きます。近年は、猛暑による健康への影響が危惧されており、くれぐれもご自愛いただきたいと思います。

さて、令和 3 年 1 月に示された中央教育審議会答申のタイトルは「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」です。その後、令和 4 年 10 月から 9 回にわたり、初等中等教育分科会特別部会の下に設置された、高等学校教育の在り方ワーキンググループにおいて、「多様性」と「共通性」の観点からの高等学校教育の在り方の検討等について議論が重ねられ、令和 5 年 8 月に中間まとめが出されたところです。

その中で、高等学校教育の質の確保・向上を目指すに当たっては、生徒一人一人の個性や実情に応じて多様な可能性を伸ばす「多様性への対応」を図ることが必要であるとされています。こうした考え方は、学習者にとっての「個別最適な学び」につながるものであり、そのために、教師は「個に応じた指導」を行っていくことが重要となります。

中学校社会や高等学校地理歴史、公民の学習指導要領解説では、生徒の多様な教育的ニーズへの対応において、配慮する事項として、次のようなことが提案されています。

- (1) 地図等の資料から必要な情報を見つけ出したり、読み取ったりすることが困難な場合には、読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にするなどの配慮をすること
- (2) 社会的事象等に興味・関心がもてない場合には、その社会的事象等の意味を理解しやすくするため、社会の動きと身近な生活がつながっていることを実感できるよう、特別活動等との関連付け等を通して、実際の体験を取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるようにするなどの配慮をすること
- (3) 学習過程における動機付けの場面において、学習上の課題を見いだすことが難しい場合には、社会的事象等を読み取りやすくするために、写真等の資料や発問を工夫すること、また、方向付けの場面において、予想を立てることが困難な場合には、見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにすること

このような工夫を行うことは、生徒の主体的な学びのために必要なものとして考えることもでき、学びの過程において、教室の中にいる一人一人の生徒の状況や困難さを適切に捉え、それに対する指導の工夫や手立てを考えることが不可欠であるとされています。

今後も、皆様のご尽力により、生徒の多様なニーズに応える魅力と活力あふれる教育活動が展開され、高等学校教育の一層の充実が図られることを心から祈念申し上げますとともに、後ほどご案内する各教科・科目の研修会にも、積極的にご参加いただくことをお願いし、発刊に当たっての挨拶とさせていただきます。

●令和6年度(2024年度)高教研地歴・公民部会役員一覧

役職	氏名	学校名	住所	
部会長	阿部 穰	有朋高校	札幌市北区屯田9条7丁目	
副部会長	久保 肇	札幌手稲高校	札幌市手稲区手稲前田497-2	
	太田 吉祐	大麻高校	江別市大麻ひかり町2番地	
	高橋 一矢	札幌厚別高校	札幌市厚別区厚別町山本750-15	
監事	佐藤 公人	石狩南高校	石狩市花川南8条5丁目1	
	柳野 五十秀	札幌平岸高校	札幌市豊平区平岸5条18丁目1-2	
運営委員	世界史	榊原 康文	札幌大通高校	札幌市中央区北2条西11丁目
		菊池 真哉	札幌英藍高校	札幌市北区篠路町篠路327-67
	日本史	安藝 宏和	札幌北陵高校	札幌市北区屯田7条8丁目1-8
		泉 宏和	岩見沢東高校	岩見沢市東山8丁目1-1
	地理	三浦 徹	札幌国際情報高校	札幌市北区新川717-1
		久恒 亮	石狩翔陽高校	石狩市花川東128番地31
	公共	山科 晶裕	有朋高校	札幌市北区屯田9条7丁目
		伊藤 航	札幌北高校	札幌市北区北25条西11丁目
	倫理	渡邊 昭博	札幌北陵高校	札幌市北区屯田7条8丁目1-8
		倉部 英利子	札幌手稲高校	札幌市手稲区手稲前田497番2
	政治・経済	藤倉 水緑	札幌清田高校	札幌市清田区北野3条4丁目6-1
		吉川 敦巳	札幌東高校	札幌市白石区菊水9条3丁目1-5
	事務局	局長	佐藤 豊記	有朋高校 札幌市北区屯田9条7丁目
		次長	大久保 博史	
局員		横平 麻紀子		
		千葉 康平		
		太田 静男		

●令和6年度高教研地歴・公民部会（教科別集会）のご案内

1 地歴・公民部会 研究主題について

(1) 令和6年度地歴・公民部会研究主題

「社会的な見方・考え方」を育てるICTを効果的に活用した授業の在り方

(2) 令和6年度専門部（分科会）研究主題

ア 世界史：ICTを活用し、主体的に取り組み課題を見出す力を育てる学習指導の工夫・改善

イ 日本史：歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり、解決したりする活動が展開する授業の設計

ウ 地理：地理必修化に応える「地理的な見方・考え方」を育成するための主体的・対話的で深い学びの実践

エ 公共：ICTを活用し、公民的資質を育成する「公共」の主体的・対話的な授業構想と実践

オ 倫理：ICTを活用し、公共や倫理の学びを手掛かりに在り方生き方の思索を深めるための授業展開

カ 政治経済：公民としての資質・能力を育成する「政治・経済」学習指導の工夫・改善

2 期 日

令和7年1月9日（木）

3 会 場

北海道有朋高等学校

〒002-8504 札幌市北区屯田9条7丁目 TEL 011-773-8200

※上履きは必要ありません。

4 内 容（時間帯は予定）

9:00	9:30	10:20	10:30	12:30	13:30	15:30	15:50
受付	開会式 総会 各研究会紹介 【当日案内】	休憩	講演 (分科会ごと) 【使用教室は当日案内】	昼食	研究発表・協議 (分科会ごと) 【使用教室は当日案内】		閉会式

5 講演・研究発表・司会・記録の依頼

分科会運営委員が依頼します。ご協力をお願いします。

6 交通機関

(1) 地下鉄南北線 麻生駅より

○中央バス 石狩庁舎前行（麻17）乗車時間15分 有朋高校下車 徒歩3分

○中央バス 石狩庁舎前行（麻08）乗車時間15分 屯田9条3下車 徒歩11分

○中央バス 屯田6条12丁目行（麻01）乗車時間11分 屯田小学校下車 徒歩13分

(2) 地下鉄東豊線 栄町駅より

○中央バス 石狩庁舎前行（栄19）乗車時間15分 屯田小学校下車 徒歩13分

(3) 札幌ターミナルより

○中央バス 屯田6条12丁目行（麻02）乗車時間37分 屯田小学校下車 徒歩13分

※ 有朋高校の駐車場は運営者・講師以外にも若干の駐車スペースはありますが、満車の際は、校舎周辺には駐車スペースがありませんので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

7 研究紀要62号の執筆依頼

(1) 教科に関することで、24,000字以内（24文字×1,000行 10頁以内）です。

（詳細は高教研会報121号に記載）

(2) 申込みは、令和6年8月26日（月）までに事務局(有朋高校)へ論文概要を送付してください。

8 その他

開催方法は対面開催とし、各分科会（講演・研究発表協議）については、オンライン配信併用実施の可否を検討中です。

●令和6年度地歴・公民科 各種研究会のご案内

※ 詳細は各学校に案内されている実施要領をご覧ください

□全道大会関係（5件）

研究会名称	北海道高等学校世界史研究会			
会長名	増田 康 広（北海道清水高等学校長）	事務局長	本 間 靖 章	
事務局	北海道札幌南高等学校 ； 札幌市中央区南 18 条西 6 丁目 1-1 ； TEL 011-521-2311			
研究会の ご案内	期 日	令和6年8月2日（金）	会 場	北海道札幌東商業高等学校 ※ 対面とオンラインのハイフレックス
	第55回北海道高等学校世界史研究大会		参加料	対面 : 2,000 円 オンライン: 1,000 円
<p>○テーマ 「歴史総合と探究科目をどうつなぐか」</p> <p>○参加費 対面 : 2,000 円 オンライン : 1,000 円 ※ 決済はオンライン決済を基本・振り込みおよび持参（対面のみ）でも対応</p> <p>○日 程</p> <p>9:00～9:30 受付</p> <p>9:30～9:45 総会（北海道のみ）</p> <p>9:45～10:00 開会式</p> <p>10:00～12:30 講演 講師：佐 藤 猛 秋田大学准教授 「百年戦争から問い直す“国家”」</p> <p>13:30～16:30 パネルディスカッション「歴史総合開発チームの1年を振り返って」 ・趣旨説明 前 野 文 繁（北海道教育庁高校教育課主査） ・「近代化と私たち」の授業づくり 成 田 明日香（興部） ・「国際秩序の変化・大衆化と私たち」の授業づくり 千 葉 康 平（有朋） ・「グローバル化と私たち」の授業づくり 山 口 可 純（鶴川）</p> <p>○申込み https://forms.gle/Bgr7QzSkhZ33AiRz8 または右記 QR コードによりお申し込みください。 申し込み締切 = 7月21日（日）17:00</p>				
※ 詳細は各学校に案内される実施要領をご覧ください				



研究会名称	北海道高等学校日本史教育研究会			
会長名	荻島 勝 幸（北海道室蘭栄高等学校長）	事務局長	國 岡 健	
事務局	北海道恵庭南高等学校 ； 恵庭市白樺町 4 丁目 1 番 1 号 ； TEL 0123-32-2392			
研究会の ご案内	期 日	令和6年8月1日（木）	会 場	北海道クリスチャンセンターホール
	第47回北海道高等学校日本史教育研究大会		参加料	2,000 円
<p>○日 程</p> <p>9:00～9:30 受付</p> <p>9:30～10:00 総会</p> <p>10:00～12:00 講演1 演題 「北方産品と「北前船」」（仮） 講師 菅 原 慶 郎 氏（東京理科大学教養教育研究院専任講師）</p> <p>12:00～13:30 昼食・休憩・準備</p> <p>13:30～15:30 講演2 演題 「貿易都市長崎と長崎奉行」（仮） 講師 鈴 木 康 子 氏（花園大学文学部日本史学科教授）</p> <p>○参加方法 事前申し込みは必要ありません。当日会場で受付をしてください。</p>				
※ 詳細は各学校に案内される実施要領をご覧ください				

研究会名称	北海道高等学校地理教育研究会			
会長名	阿部 穰 (北海道有朋高等学校長)	事務局長	芳沢 文明	
事務局	北海道札幌西高等学校 ; 札幌市中央区宮の森4条8丁目1 ; TEL 011-611-4401			
研究会の ご案内	期 日	令和6年8月2日(金) 令和6年8月3日(土)	会 場	東京理科大学長万部キャンパス他
	第52回北海道高等学校地理教育研究会「長万部大会」		参加料	1,000円 他
	○研究主題 地域と連携・協働した学びの実現 ～ 地域の活きた教材をどのように活用するのか ～			
	○日 程			
	8月2日(金)			
	12:20～12:45	集合・受付 (あつまんべ=長万部町商工会:長万部駅徒歩1分)		
	12:45	開会式		
	13:00～14:40	講演A 演題「長万部から見渡す過去・現在・未来 ～ 歴史と文化、新幹線をキーワードに～」 講師 榎 引 素 夫 氏 (青森大学社会学部教授)		
		講演B 演題「新幹線長万部駅舎・駅前周辺整備について」 講師 岸 上 尚 生 氏 (長万部町新幹線推進課長)		
	14:40～17:00	巡検A【新幹線トンネル建設現場:長万部町静狩】 案内:松 尾 健 治 氏 (鉄道・運輸機構長万部鉄道建設所長)		
18:00～	教育懇談会【長万部温泉ホテル】			
8月3日(土)				
9:00～	ホテル出発:巡検B【郷土資料室・鉄道村】			
9:45～	巡検C【東京理科大学】 案内:佐 藤 喜一郎 氏 (東京理科大学教養教育研究院 長万部キャンパス教養部教授)			
	講演C 演題「毛がにの養殖に係る研究」 講師 竹 内 謙 氏 (東京理科大学教養教育研究院 長万部キャンパス教養部教授)			
11:00～	巡検D【はっぴーディアーズ (閉校した小学校の校舎を利用)】 講師:佐 藤 健次郎 氏 (はっぴーディアーズマネージャー)			
12:00～	閉会式【バス内】			
○参加費用 ・大会参加料:¥1,000・宿泊代:¥7,000・教育懇談会費:¥6,000 合計¥14,000 ※ 参加費用は当日受付で支払い願います				
○参加申込 別紙 FAX 送信票にて				
○宿 泊 長万部町内の温泉ホテル (長万部温泉旅館大成館 他) ※ 宿泊は先着25名の受付となります				
※ 詳細は各学校に案内される実施要領をご覧ください				

次のページにつづく

研究会名称	北海道高等学校「倫理」「公共」研究会																					
会長名	鈴木 究 (北海道帯広柏葉高等学校長)					事務局長		佐藤 克宣														
事務局	北海道札幌南高等学校					札幌市中央区南 18 条西 6 丁目 1-1			TEL 011-521-2311													
研究会の ご案内	期 日	令和 6 年 8 月 7 日 (水)				会 場	かでの 2・7 502 研修室 ※ 対面およびオンライン開催															
	2024 年度北海道高等学校「倫理」「公共」研究会 (第 58 回研究大会)						参加料	2,000 円														
	○主 題「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせる授業の構築に 向けて ～現代社会の基礎となる枠組み (概念や理論など)に着目して～																					
	(1)「講演」																					
	演 題 『政治学』を読むために (仮)																					
	講 師 北海道情報大学情報メディア学部 教授 三 浦 洋 氏																					
	(2)「授業実践発表」																					
	実践発表①「公共」 北海道登別青嶺高等学校 教諭 久 井 秀 高																					
	実践発表②「公共」 北海道岩内高等学校 教諭 杉 江 和 樹																					
	(3)「研究協議」																					
参加された先生方とのグループワークなどを通して、公民科『公共』の授業におけ る「社会的な見方・考え方」について研究協議を実施する。																						
(4)「助言」																						
助言① 北海道情報大学 情報メディア学部 教授 三 浦 洋 氏																						
助言② 日高教育局教育支援課高等学校教育指導班 主査 佐藤 英明氏																						
○日 程																						
10:00 10:30 10:40 12:00 13:00 14:00 14:20 16:00 16:20 16:30 16:55																						
<table border="1"> <tr> <td>受付 (オンライン 参加を含む)</td> <td>開 会 式</td> <td>講演(60分) 質疑応答(20分)</td> <td>休 憩</td> <td>授業実践 発表① (30分)</td> <td>授業実践 発表② (30分)</td> <td>休 憩</td> <td>研究協議 (100分)</td> <td>助 言 ①</td> <td>助 言 ②</td> <td>閉 会 式</td> <td>道倫研 研究会 総会</td> </tr> </table>											受付 (オンライン 参加を含む)	開 会 式	講演(60分) 質疑応答(20分)	休 憩	授業実践 発表① (30分)	授業実践 発表② (30分)	休 憩	研究協議 (100分)	助 言 ①	助 言 ②	閉 会 式	道倫研 研究会 総会
受付 (オンライン 参加を含む)	開 会 式	講演(60分) 質疑応答(20分)	休 憩	授業実践 発表① (30分)	授業実践 発表② (30分)	休 憩	研究協議 (100分)	助 言 ①	助 言 ②	閉 会 式	道倫研 研究会 総会											
○参加申し込みについて (会場参加・オンライン形式による参加者共通フォーム) 右側の QR コードを読み取ってください。お申し込みの締切 は、2024 年 8 月 2 日 (金) です。 オンラインで参加される場合は、 お申し込みまでに参加費をお振込みください。 尚、入力にお間違いがあった場合は、 再度入力し送信してください。																						
※ 詳細は各学校に案内される実施要領をご覧ください																						



次のページにつづく

研究会名称	北海道高等学校政治経済研究会		
会長名	金森卓紀(北海道訓子府高等学校長)	事務局長	吉川敦巳
事務局	北海道札幌東高等学校 ; 札幌市白石区菊水9条3丁目 ; TEL 011-811-1919		
研究会のご案内	期 日	令和6年8月5日(月)	会 場
	令和6年度北海道高等学校政治経済研究会第49回研究大会		北農健保会館3階 大会議室 ※ 対面およびオンライン開催
		参加料	2,000円
	<p>○テーマ「北海道の未来を担う高校生のために、私たちは今、何ができるか」</p> <p>○参加費 2,000円 ※対面参加の場合は大会当日に徴収・オンライン参加の場合は口座への振り込み</p> <p>○日 程</p> <p>9:30～10:00 受付</p> <p>10:00～10:20 開会式・総会報告</p> <p>10:20～12:20 ワークショップ テーマ「検察官と連携した模擬裁判(仮)」 担 当 札幌地方検察庁検察広報官</p> <p>13:20～15:30 講演 演 題「法教育を通じて高校生に伝えたいこと、現場の先生との連携について」 講 師 綱 森 史 泰 氏(札幌弁護士会) 種 田 紘 志 氏(札幌弁護士会) 阿 部 太 陽 氏(札幌弁護士会)</p> <p>15:30～16:20 実践発表 テーマ「ディベートを軸として学ぶ死刑制度の授業実践 ～教科横断的な学び～」 発表者 折原拓真 教諭(北海道穂別高等学校)</p> <p>16:20～16:30 諸連絡</p> <p>16:30～16:40 閉会式</p>		
	○参加申込(Googleフォームによる申込) 申込用二次元コード=		
	URL = https://docs.google.com/forms/d/1fihCdhfX6FNxHZPcbriXoMz9hZD4y092a91dODOqUp0/edit		
	○申込締切 = 7月19日(金) 対面参加60名・オンライン参加50名超の場合は 参加をお断りさせていただきますので早めのお申し込みをお願いします		
	※ 詳細は各学校に案内される実施要領をご覧ください		

次のページにつづく

□全国大会関係（2件）

研究会名称	全 国 歴 史 教 育 研 究 協 議 会			
会 長 名	南 和 男（白梅学園清修中高一貫部校長）	事務局長	豊 田 基 裕	
事 務 局	東京都立文京高等学校 ； 東京都豊島区西巣鴨 1-1-5		TEL 03-3910-8231	
研究会の ご案内	期 日	令和6年7月25日（木） ～27日（土）	会 場	浦和コミュニティセンター：浦和 PARCO10 階 （オンラインと対面による開催）
	全国歴史教育研究協議会第65回研究大会（埼玉大会）		参加料	4,000 円
<p>○日 程</p> <p>7月25日（木）</p> <p>9:30～10:00 受付</p> <p>10:00～11:00 総会</p> <p>13:00～17:00 分科会（第2～第5）</p> <p>第2分科会（歴史総合）「歴史総合における授業展開」</p> <p>松本 優介（埼玉県立大宮高等学校・教諭）</p> <p>歴史総合「で」探究をつなぐ－歴史総合と総合的な探究の時間との接続を中心に－</p> <p>岩崎 望（埼玉県立坂戸高等学校・教諭）</p> <p>資料から読み解く歴史総合－光も影も栄養にして－</p> <p>渡邊 泰斗（神奈川県立横浜国際高等学校・教諭）</p> <p>歴史総合の授業実践－生徒が歴史を読み解き、考え、書く－</p> <p>第3分科会（日本史）「日本史探究における授業展開」</p> <p>杉本 祐輝（埼玉県立深谷高等学校・教諭）</p> <p>日本史探究における問いと仮説での実践について</p> <p>浅岡 宏二（学校法人武南学園 武南中学校・高等学校・教諭）</p> <p>近世史料を読み解く</p> <p>堀越 直樹（学校法人昌平学園 昌平中学校・高等学校・教諭）</p> <p>歴史総合から日本史探究へ－教科書を中心に据えて時代の特徴と展開を考察する実践－</p> <p>第4分科会（世界史）「世界史探究における授業展開」</p> <p>山形 友広（筑波大学附属中学校・教諭）</p> <p>小学校の人物学習から高校の総合探究科目への掛橋－中学校での実践を例に－</p> <p>白井 聡子（埼玉県立浦和第一女子高等学校・教諭）</p> <p>世界史探究における生徒の多角的な視点を育成する取り組み</p> <p>植原 督詞（群馬県伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校・教諭）</p> <p>議論を基盤とした世界史学習の評価方法－授業における生徒の議論をいかに評価すべきか－</p> <p>第5分科会（歴史教育と地域連携）</p> <p>「地域との連携による探究的な学び～小中高で深めるおがわ学の試み～」</p> <p>篠澤 和泉（埼玉県小川町立小川小学校・教頭）</p> <p>松下 遼河（埼玉県小川町立東中学校・教諭）</p> <p>岡本 敏明（埼玉県立小川高等学校・教頭）</p> <p>コーディネーター：荊塚 雄一（小川町教育委員会おがわ学コーディネーター/元埼玉県立小川高等学校・校長）</p> <p>7月26日（金）</p> <p>9:00～ 9:30 受付</p> <p>9:30～12:00 第1分科会 テーマ「歴史教育における“探究”とは何か」</p> <p>パネリスト 渡邊 大地（前埼玉県立浦和高等学校・主幹教諭）</p> <p>會田 康範（学校法人学習院 学習院高等科・教諭）</p> <p>野々山 新（愛知県立大府高等学校・教諭）</p> <p>下山 忍（東北福祉大学・教授）</p> <p>コーディネーター 小林 武史（埼玉県立新座高等学校・教頭）</p> <p>13:30～15:00 記念講演 土屋 武志 氏（愛知教育大学名誉教授）</p> <p>『高校で歴史学習がなぜ必要か？－解釈型歴史学習の新たな役割』</p> <p>14:30～15:00 閉会集会・史跡見学説明</p>				

7月27日(土)

史跡見学(貸切りバス使用 6,000円)

「鉄道150年その後と新紙幣の顔渋沢栄一を訪ねて」

9:30 浦和駅集合

→ 10:00-12:00 鉄道博物館見学(学芸員より展示解説・自由見学)

→ 車中にて昼食(駅弁)

→ 14:00-15:30 渋沢栄一関係史跡 [渋沢栄一記念館・中ん家(旧渋沢邸)・
ホフマン窯(旧煉瓦製造施設)] 見学

→ 深谷駅(車窓) → 熊谷駅 16:00 頃解散予定

○申し込み方法(参加申し込みの締め切りは、7月19日(金))

全国歴史教育研究協議会のHPから

申し込みWEBサイト(Peatix)にアクセスしていただくか、

以下の申し込みWEBサイトに直接アクセスして必要な手続きを行ってください。

・大会申し込みWEBサイト: <https://zenrekikensaitama65.peatix.com/>

※ 詳細は各学校に案内される実施要領またはWEB等をご確認ください

次のページにつづく

研究会名称	全 国 公 民 科 ・ 社 会 科 教 育 研 究 会			
会 長 名	大 山 敏 (東京都立大島海洋国際高等学校長)	事務局長	篠 田 健一郎	
事 務 局	東京都立西高等学校	東京都杉並区宮前 4-21-32	TEL 03-3333-7771	
研究会の ご案内	期 日	令和6年7月26日 (金)	会 場	【対面開催会場】代ゼミ本部校舎(代ゼミタワー) 【オンライン開催】Zoom
	令和6年度全国公民科・社会科教育研究会全国研究大会 (東京大会) (兼公民科・社会科教育関東協議会第73回東京大会)		参加費・資料代	5,000円
○大会主題 自立した主体として社会に参画するために必要な資質・能力を育成する「公共」の指導方法				
○日 程				
8:30～9:00 受付、オンライン接続				
9:00～9:25 開会式・総会				
9:30～10:50 記念講演 演題：「質の高い探究的な学びを実現する「公共」授業の在り方」 講師：唐 木 清 志 氏(筑波大学人間系教授、日本公民教育学会会長)				
11:00～12:00 分科会報告①				
【第一分科会(「大項目A 公共の扉」分科会)】				
研究発表者 岡 田 信 昭 先生(東京都立小平南高等学校) 「公共の扉の授業方法 ～青年心理と思想分野にどう取り組むか～」				
研究発表者 大 畑 方 人 先生(ドルトン東京学園中等部・高等部) 「「エージェンシー」育成に資する「公共の扉」の授業実践」				
【第二分科会(「大項目B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」 「大項目C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」分科会)】				
研究発表者 末 吉 智 典 先生(東京都立小松川高等学校) 「交渉教育を使った指導 ～対話を通じて互いを理解し高め合う～」				
研究発表者 石 本 由 布 子 先生(茨城県立並木中等教育学校) 「模擬裁判のすゝめ ～多面的・多角的に考察し後世に判断する力を養う～」				
13:00～14:00 分科会報告② ※ 報告①に同じ				
14:10～16:30 シンポジウム				
【 テ ー マ 】 専門家や関係諸機関から「公共」に何を期待し、何を求めたいか				
【シンポジスト】磯 山 恭 子 氏(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官) 岡 崎 竜 子 氏(東京都金融広報委員会事務局長) 菊 地 英 明 氏(厚生労働省厚生労働省年金局総務課年金広報企画室) 星 野 大 輝 氏(財務省大臣官房文書課広報室)				
【コーディネーター】沖 山 栄 一 氏(東京都公民科・社会科教育研究会会長)				
16:40～16:50 分科会報告				
16:50～17:00 閉会式				
○申し込み				
(1) 申込方法 (Microsoft forms を使用) https://forms.office.com/r/AihnKFvHMw				
(2) 申込期間 令和6年6月30日 (日) 締切 ※なお、Microsoft forms での申し込みができない場合は、東京都公民科・社会科教育研究会事務局までご連絡ください。				
※ 詳細は各学校に案内される実施要領またはWEB等をご確認ください				



次のページにつづく

□その他（2件）

講演会名称	ユネスコ世界文化遺産講演会			
主催	北海道世界文化遺産活用推進実行委員会	問い合わせ	西脇 対名夫	
事務局	北海道教育庁生涯学習 推進局文化財・博物館課	札幌市中央区北3条西7丁目	TEL 011-231-4111 内線 35-626	
講演会のご案内	期 日	令和6年8月24日（土）	会 場	札幌パークホテル3階エメラルド
			参加費・資料代	無料（定員200名）
<p>○講演会テーマ 世界遺産の意義 - 持続可能な世界に向けて -</p> <p>○内容と日程（開場=15:30・開会=16:00・閉会=18:00）</p> <p>第1部 16:10~17:00 講演 演題：ユネスコ世界遺産の光と影 講師：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事長 鈴木 佑 司 氏</p> <p>第2部 17:10~17:55 対談 テーマ：世界遺産の継承と持続可能な世界 講 師：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事長 鈴木 佑 司 氏 北海道大学観光学高等研究センター 教授 西山 徳 明 氏</p> <p>○申し込み（道内在住の中学生以上）</p> <p>(1) 申込方法（次のいずれかで申し込んでください）</p> <p>① 申込フォーム（右の二次元コードより申し込み）</p> <p>② 電話番号 = 011-231-4111 内線 35-626 担当：西脇（にしわき）さん</p> <p>③ メールアドレス = vgjomonhokkaido@gmail.com 必須事項 = 氏名・ふりがな・居住市町村 任意事項 = 電話番号・年齢・性別・質問など 入力して送信してください</p> <p>(2) 詳細 = 以下の URL でご確認ください</p> <p>https://www.ecpuwchh.org/青少年交流事業/世界文化遺産講演会2024</p>				



次のページにつづく

学習会名称	公民科と家庭科の先生のための連携 金融経済教室			
主催	公民科家庭科連携学習会事務局	事務局長	佐藤 豊 記	
事務局	北海道高等学校遠隔授業 配信センター	札幌市北区屯田9条7丁目5 (有朋高校内)	TEL 011-773-8200	
講演会のご案内	期 日	令和6年8月17日(土)	会 場	ホテルライフォート札幌 4階グラブ
	目的：金融経済教育にかかわって公民科と家庭科の教員がともに学ぶことにより、家計管理や消費生活、生活設計などの家庭科の視点と、公共や経済に関する公民科の視点の教科横断的な連携を深め、生徒の多面的・多角的な理解と深い学びを促す。		参加費 定員	無料 定員：対面 40名 オンライン 60名
<p>○内容と日程(受付=8:30～・開会式=9:00～・閉会式=12:30～)</p> <p>講演Ⅰ 9:10～10:30(10:00～会場参加者との意見交換)</p> <p>演題：「公民科と家庭科をつなぐ ICTを活用した金融教育 ーより実践的な自分ごととしての金融教育を目指してー」</p> <p>講師：代々木ゼミナール公民科講師 畠山 創氏</p> <p>講演Ⅱ 10:40～11:30</p> <p>演題：「生徒の学びを深めるフューチャー・デザイン授業」</p> <p>講師：財務省主計局 調査課課長補佐 大本 エリナ氏</p> <p>実践報告 11:30～11:50</p> <p>テーマ：公民科と家庭科が連携した授業の取り組み</p> <p>報告者：北海道標津高等学校 教諭 工藤 有紗氏 北海道有朋高等学校 教諭 野尻 千裕氏</p> <p>シンポジウム 12:00～12:30</p> <p>登壇者(5名)</p> <p>札幌弁護士会所属 弁護士 八木 宏樹氏 北海道金融広報委員会 事務局長(日本銀行札幌支店次長) 岡田 拓也氏 代々木ゼミナール 公民科講師 畠山 創氏 北海道有朋高等学校 教諭 野尻 千裕氏 北海道標津高等学校 教諭 工藤 有紗氏</p> <p>司 会：北海道高等学校遠隔授業配信センター 次長 佐藤 豊記氏</p> <p>○申し込み</p> <p>参加申込フォーム(URL・二次元コード)から = https://forms.gle/wU1gq3zrEvaAK9UF8</p> <p>申し込み締切：8月8日(木)</p>				



北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会報 第113号 [令和6年(2024年)7月18日]

編集・発行：北海道有朋高等学校 高教研地歴公民部会事務局

〒002-8504 札幌市北区屯田9条7丁目

TEL：011-773-8200 FAX：011-773-8300

Mail：yoho-ta0@hokkaido-c.ed.jp

URL：http://d-kokyoken.jp/subject/social/index.html